株式会社 緑生研究所　http://www.ryokusei-ri.co.jp

緑生瓦版

2008.03.01
第 十三 号

樹木医としての決意

都内某所公園に樹高十メートルのセンペルセコイアがあった。一九八一年当時私はこの樹木の管理を任されていた。この年の夏を過ぎたころ、センペルの上部から枯れが進み、その年の暮れ枯死した。当時二十五歳だった私の知りうる限りの方法を使って治療したが、この樹を救うことができなかった。あれから二十六年後の二〇〇七年「樹木医」となった。これからどれだけの樹木を救えるかは、臨床経験と研究のいかんにかかっている。二十六年前に一本の樹木を救えなかった悔しさを今も決して忘れない。

計画部
松本　竹吾

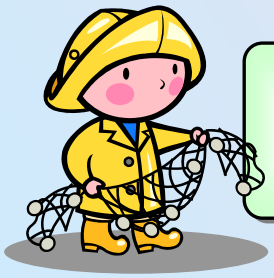
緑生研究所って、どんな会社…？
～ 自己紹介の巻 ～

創刊号（2006 年 3 月）で当社の組織を紹介させて頂いてから、はや 2 年がたちました。皆様にはお世話になり、心より感謝しております。本当にありがとうございます。スタッフの採用や異動等がありましたので、今回改めて組織を紹介させて頂きます。（調査部 坪山聡）

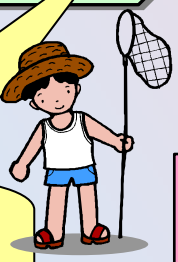
北海道支所
〒003-0002
北海道札幌市白石区東札幌二条
５丁目 8-26 ３Ｄコートアネックス１Ｆ
TEL:011-817-7330 FAX:011-817-7112
スタッフ数：３名
（鳥類、昆虫類、その他動物）

大阪支所
〒561-0882
大阪府豊中市南桜塚２丁目６番地 30 号
カワサキビル２F
TEL:06-6840-7727 FAX:06-6852-3332
スタッフ数：４名
（植物、哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、その他動物）

東京本社（営業）
〒182-0026
東京都調布市小島町 2-40-10 桐生ビル２Ｆ
TEL:042-499-7211（代表） FAX:042-487-4334
042-499-7212（企画・営業）
スタッフ数：３名



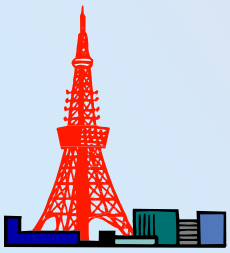
東京本社（計画部）
TEL:042-499-7213 FAX:042-487-4334
スタッフ数：４名
（環境計画、環境デザイン、環境管理、GIS 解析、モニタリング、植物、鳥類）



東京本社（調査部）
TEL:042-499-7214 or 7215 FAX:042-487-4334
スタッフ数：１０名
（植物、哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、昆虫類、クモ類、魚類、底生動物）

ー有資格者数ー

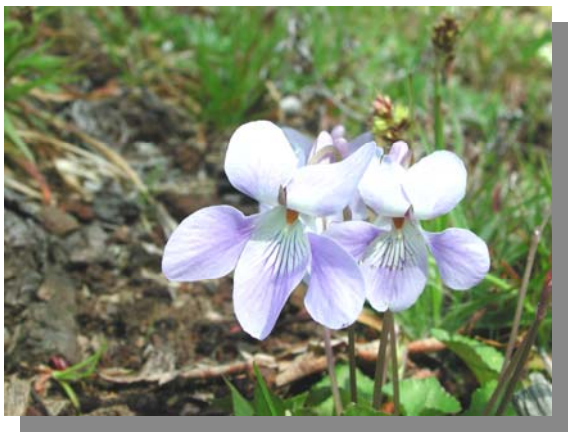
- 技術士（建設部門）　３名
- 技術士（環境部門）　１名
- 技術士（総合技術監理部門）　１名
- 樹木医　１名
- 技術士補　３名
- 測量士補　１名
- ビオトープ管理士（２級）　１名
- 生物分類技能（植物１級）　１名
- 生物分類技能（植物２級）　３名
- 生物分類技能（鳥類１級）　２名
- 生物分類技能（昆虫類１級）１名
- 生物分類技能（動物２級）　２名



※ 裏面もご覧下さい。

〒182-0026 東京都調布市小島町 2-40-10 桐生ビル２Ｆ
TEL:042-499-7211（代表） FAX:042-487-4334

写真だより



タチツボスミレ　*Viola grypoceras*

春に、あちこちで見かける身近な花のひとつです。花の色が白いオトメスミレや葉脈に沿って赤紫色の斑が入るアカフタチツボスミレなど、いくつかの品種がみられます。

ケアシノスリ　*Buteo lagopus*

日本には冬鳥として主に北日本に渡ってくるカラスほどの大きさのタカです。草地や耕作地などの広い開けた場所でみられますが、数は少ないようです。足が羽毛に覆われていることから「ケアシノスリ」の名が付きました。

アンケートのお願い！

Q.「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えて下さい。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：　　**所属：**　　**氏名：**

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、**株式会社緑生研究所（坪山）宛に FAX（042-487-4334）**でお願いいたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございました。

第十四号は、お休みモードから抜け出せない五月一日の発行を予定しています。

特集では当社で行った『住民参加による都市の生物調査』の様子を紹介します。

コラム

春一番や三寒四温など、春の訪れを告げる言葉をちらほら耳にする時期です。二十四節気でいう「啓蟄」で、今年は三月五日がそれにあたります。

天文学的には、天球上の黄経三四五度の点を太陽が通過する瞬間だそうです。土の中で冬ごもりしていた生き物たちが地上へ這い出してくるという意味では、温暖化の影響で年々早まっているのでは…

Tu